

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: 社会福祉原論 I			担当教員 氏名: 鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かして授業を行う					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の理念と意義について理解する ・社会福祉の対象と援助の体系および方法論について理解する ・社会福祉固有の専門性と倫理について理解する 					社会福祉 歴史 制度
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 6. 9. 10	
A 知識・理解力	社会福祉の理念と必要性について理解することができる				
C 論理的思考力	社会政策や社会福祉の供給体制について理解することができる				
D 問題解決力	理論を活用して実践に結びつける力を身につける				
F チームワーク・リーダーシップ	先人による福祉実践から彼らのリーダーシップや福祉観を考察する				
G 倫理観	政策決定(プロセス含)における倫理観の必要性に気づく				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: その他とは授業への姿勢、態度のことである。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の中間・後半にまとめと振り返りを予定している。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①わが国における福祉制度の概念と理念			【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②福祉政策の概念と理念			【事前】②当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③福祉制度と施策の関係			【事前】③当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④福祉政策と政治の関係			【事前】④当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤福祉政策の主体と対象			【事前】⑤当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥福祉の原理をめぐる理論			【事前】⑥当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦福祉の原理をめぐる哲学と倫理			【事前】⑦当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧前近代社会と福祉			【事前】⑧当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨近代社会と福祉			【事前】⑨当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩現代社会と福祉 I (欧米)			【事前】⑩当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪現代社会と福祉 II (日本)			【事前】⑪当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫需要とニーズの概念			【事前】⑫当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬資源の概念			【事前】⑬当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭福祉政策と社会問題			【事前】⑭当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮まとめ			【事前】テキスト前半、資料の確認 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 現代社会と福祉 著者: 川村匡由 島津淳 佐橋克彦 西崎緑 出版社: 電気書院 ISBN: 978-4-485-30411-2			その他参考文献など: 「厚生労働白書」厚生労働省		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 事前・事後学習において、テキストだけでなく、参考文献や授業で紹介した本、論文等にも目を通してください。					